

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ソラリス		ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	コック
	モルフェウス					
オプション	命令		年齢	31	性別	男
覚醒	衝動	恐怖		初期侵食率	32	%
出自	生涯孤独	経験	UGNへの恐怖		邂逅	友人

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	2	0	1			3	行動値	9
感覚	1	0	2			3	(非装備時)	9
精神	1	1	1			3	戦闘移動	14
社会	4	0	0			4	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1	1	調達	1	
運転:			芸術:			知識:	2		情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
見送る者<ブリーズ・カムバック>	RC	3r+1	7			80↑限定。癒やしの水+狂戦士。HP回復しつつパフ。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
防弾防刃ジャケット	6	3	0	0	養成所の生徒だったときにもらったのを引っ張り出してきた。

所持品	
思い出の一品 (友人二人からもらったもの)	

合計装甲:	3	合計回避:	0
-------	---	-------	---

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
柳楽天道	P 憧憬	N 嫉妬		
暮井悠	P 尊敬	N 劣等感		
我妻谷琥珀	P 遺志	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	10	残り財産P:	2
--------	----	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
サイコメトリー	1	1	メジャー	-	-	-	-	
効果:	全ての<情報:>判定と組み合わせ可能。判定ダイス+ (Lv+1)							
砂の結界	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ダメージロール直前に使用。カバーリングを行う。(行動済でも可、行動済にならない) 1メインプロセス1回。							
癒やしの水	2	2	メジャー	視界	-	自動	-	
効果:	対象のHPを (Lv) D+ [精神] 点回復。							
狂戦士	1	5	メジャー	視界	単体	自動	80↑	
効果:	対象が次に行うメジャーアクションのC値を-1 (下限6)、判定ダイス+ (Lv*2)							
サポートボディ	3	3	セットアップ	至近	範囲 (選択)	自動	80↑	
効果:	ラウンド間、対象のあらゆるダイス+Lv個。ただし自身のあらゆる判定のダイスを-5。自身は対象不可。							
餓鬼魂の使い	1	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	対象がHPダメージを受けた際に使用する。対象にランク3の邪毒を与える。1シーンにLv回。							
無上厨师	1	-	メジャー	至近	効果参照	自動	-	
効果:	その場にある物質を使ってよく知っている料理を作り出す。GMは必要ならばRC判定可能。							
元気の水	1	-	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果:	栄養満点の水を作り出す。HPやBSの回復は不可。具体的な内容はGMが決定し、場合によってはRC判定が可能。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

■ 友人を失うために生まれた。何もできないように作ったけど器用貧乏って感じになった。

■ 成長目標
特にないです

■ 昼行灯の経歴。
物心ついた時にはすでに施設で育っていた。その施設が『はずれ』で体罰や暴言が横行しており、それによって自信のない人格が形成された。その施設自体が解体された後、他の施設に移されたがいろいろな理由で転々とたらいまわしにさせられ、辿りついたのがUGNの実験場だった。『ここで生きるには力がなければならぬ』『だから、覚醒しろ』そんな理由で覚醒し、送られたのはチルドレンの養成所だった。けれど、突然芽生えた力に恐怖があったせいかうまく力を使いこなせず、それどころか暴走をすることも多く、失敗経験がさらに失敗を呼ぶ悪循環に陥った。結果、自他ともに認める『落第生』となった。その後、二人の友人を得るも、才能があり人のために為るのであろう友人の存在によってさらに自信をなくし、卒業するときには『UGNに籍を置いてはいるが、オーヴァードとしては生きない』ことを選ぶ。UGN内部から脱したのはいいが、一般的な学はなかった。そこで、自力で資格や免許を取り、今はある老舗のコックをやっている。イージーエフェクトでほんのりするをしている自覚はあるが、それでも初めて誰かに認めてもらい、笑ってもらい、感謝されたのが今の道であった。